プリントなのに締まない衝撃のタイ！

松尾 ドレイクスの4位はびっくりです。よく食い込んできましたね。

中村 ドレイクスが登場する以前って、日本にはプリントで締めやすいタイってなかったんです。ドレイクスが50オンスのシルクタイを出してきたのが10年くらい前だと思うんですけど、まのときに初めてしてみて、プリントで締まないタイというのに凄いショックを受けたのを覚えています。生地はデヴィッド・エヴァンスだと思うんですけど、日本の技術ではヘビーなシルクにプリントを食い込ませるのって大変なんですよね。今日しているのがそのドレイクスのタイで、ウチで7万〜8万円で販売しているんですけど、ビームスでもずっと売れ続けている売れた人気アイテムなんです。タイでドレープが出るっていうのかな、一度すると、ほかのタイを締められなくなります。同じ生地でチーフも作ったんですけど、それもまたとってもいい感じです。

清田 さっきまでかかっていて絶賛したわけではないんですけど、なんとなく締めやすいっていうのはわかるんでしょうね。大変結構なことだと思います。

中村 これに絶賛したんはかなり通ですね。

松尾 欲しくなってきましたね。僕も買おうっと。

清田 僕も一度試してみたいですね。

松尾 ちなみにいくらですか。

中村 安価ですね。「1-2-3」は、これだけは絶対に妥協を許してもらえないっていう、ラコステの中でも安価とされているモデルなんです。ボディサイズもこれだ